

コンクリート構造物の補修・劣化抑制対策に有効な 『CVスプレー工法』

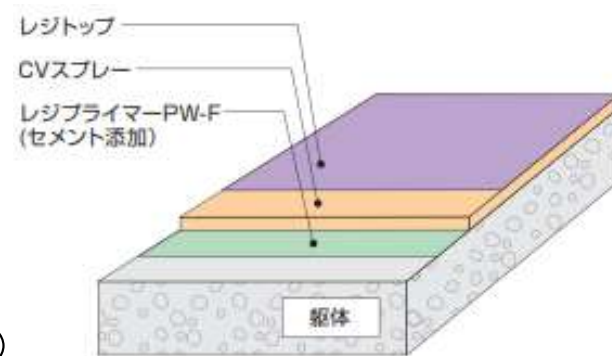
CVスプレー工法は、港湾・空港施設及び道路・橋梁等におけるコンクリート部材に対する塩害及び水密性（防水性）及びアルカリ骨材反応等の対策を目的とした表面被覆工法であり、新設および既設の構造物に適用できます。



工法の特徴

- 1 遮塩性と水密性（防水性）に優れます。
- 2 10～20秒でゲル化硬化するので、複雑な形状、部位も施工が可能でシームレスな塗膜を形成します。
- 3 8mmのひび割れ幅にも追従します。
- 4 サンシャインカーボンアーク灯促進耐候性試験 3000時間（目安として一般環境下で15年相当※1）長期耐久性を有します。
※1 日本ウレタン建材工業「ウレタン塗膜防水施工マニュアル」

材料



施工手順（事例）

プライマー塗布工



CVスプレー吹付工



トップコート



完成



丸栄コンクリート工業株式会社

総合技術研究所 技術センター内 施工技術開発部 メンテナンス課 tel : 0584-66-3131 e-mail : g-center@maruei-con.co.jp